

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

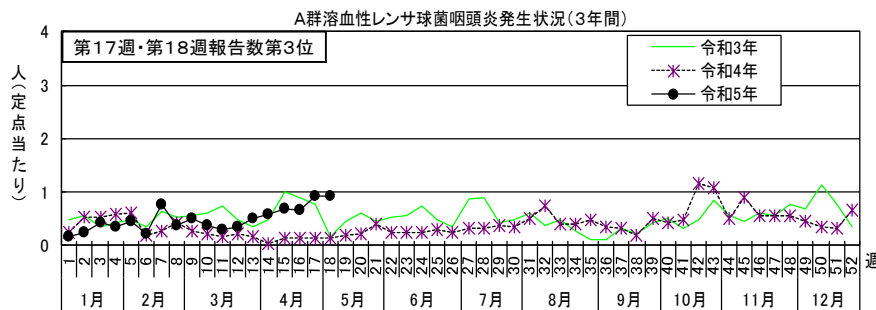
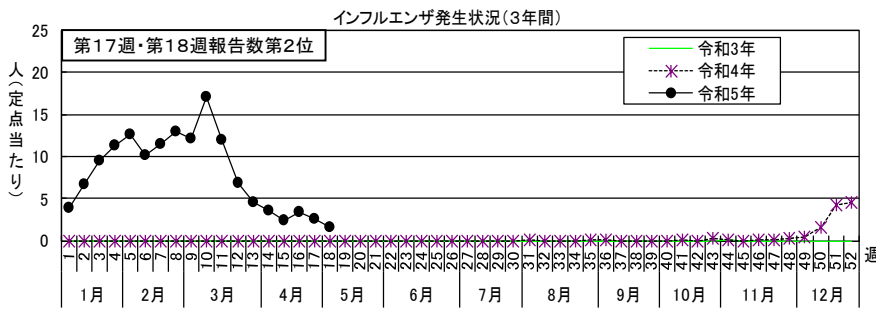
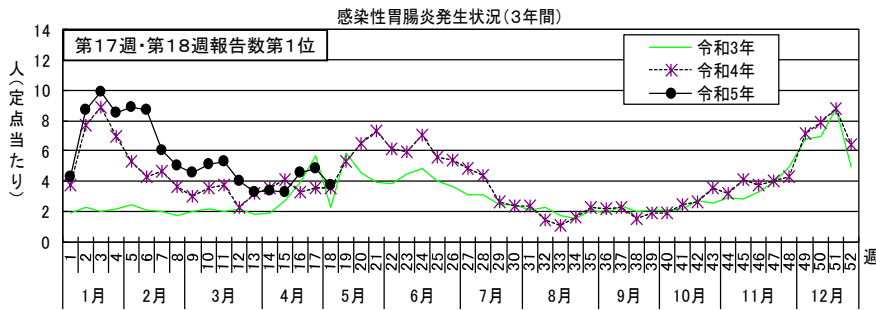
令和5年4月24日（月）～4月30日（日）〔第17週〕及び5月1日（月）～5月7日（日）〔第18週〕の感染症発生状況

第17週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）インフルエンザ 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

第18週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）インフルエンザ 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

第18週の感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.73人と前週（4.84人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

第18週のインフルエンザの定点当たり患者報告数は1.67人と前週（2.62人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



新型コロナウイルス感染症～感染症法上の位置づけが5類に～

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、法に基づき2類相当の感染症に位置づけられていましたが、5月8日から5類感染症の定点把握疾患（インフルエンザ、感染性胃腸炎等）となりました。これに伴い、今まで実施されていた外出制限の要請や医療費の全額公費負担等の措置は廃止となりました。治療費は一部自己負担となりますが、新型コロナウイルス治療薬の費用は高額であるため9月末までは無料です。

5類に移行したとはいえ、新型コロナウイルスの感染力や病原性が変わるわけではありません。引き続き、体調が悪い場合は無理をせず自宅で療養し、必要に応じてマスク着用や換気等の感染対策を行いましょう。

【新型コロナウイルス感染症の療養期間】

- ・発症後5日間は外出を控えることを推奨
- ・発症後10日間はウイルスを排出する可能性があるため、マスクを着用するとともに、ハイリスク者との接触を控えることを推奨

発熱時や療養中の体調相談は、医療機関又はコールセンターへ

コールセンター電話番号：044-200-0730
受付時間：24時間・年中無休



5月8日以降の主な変更点

	変更前 (5/7まで)	変更後 (5/8から)
患者数の公表	全ての患者数を毎日公表	指定した医療機関の1週間分の患者数を週1回公表
医療機関	特定の医療機関が対応	幅広い医療機関で対応
感染対策等	法に基づく入院措置・勧告、外出自粛要請	個人の選択を尊重
医療費	公費負担	一部自己負担 (新型コロナウイルス治療薬は9月末まで全額公費負担)
ワクチン接種	無料	令和5年度も引き続き無料 (接種対象者は時期によって異なる。)